

令和4年度学校経営の改革方針

学 校 名	津市立安東小学校	校長名	北岡 明直
児童・生徒数	130名	学級数	9学級
		教職員数	14名

1 めざす学校像

*子ども一人ひとりを大切にした豊かな学び合いのもと、保護者や地域と連携し信頼される学校を創る。

*「安東小学校がすき」という思いがもてる学校経営をめざす。

○みんながつながり合い、支え合う学校 ○やる気いっぱい、やさしさいっぱいの学校

○安全で安心な信頼される学校 ○地域に根ざした学校

2 現状と課題 「学校教育目標：未来を切り拓く、心豊かでたくましく生きる子どもの育成」

素直で伸び伸びとした児童が多く、日常生活においても学年を越えて仲良く遊ぶ姿が見られる。児童は、「米づくり」に係る勤労生産体験や登下校の見守り等で保護者や地域の人々に支えられていることを実感しながら学校生活を送っている。

保護者からは、様々な場面を通して、児童が生き生きと活動している様子に一定の理解を得ている。しかし、各学年単学級のため、大勢の中で切磋琢磨する経験が少なく、とくに自信を持って自ら進んで取り組む力が弱いように思われる。

10年以上も前より取り組んでいる外国語（英語）活動を加えて発表する「安東フェスティバル」など、全教育活動を通してコミュニケーション能力の育成に努めている。

また、「生活を語る会」を月1回開催し、教職員集団による学び合いや情報の共有化を図り、一致した生徒指導を大切にしながら、コミュニケーション能力の備わった生き生きと自信を持って活動できる自己肯定感の高い児童の育成を目指している。

3 重点目標

- (1) 「元気な挨拶をし、みんながつながり合い、支え合う安心して過ごせる楽しい学校」を創る。
- (2) 全ての教職員が何事も共通理解の基に協働し、カリキュラムマネジメントを意識する組織的な学校運営をする。
- (3) 基礎基本を大切にし、ICT 機器（タブレット端末）の効果的活用により学力向上につながる学びの質を高めていく授業の工夫改善を進め、知徳体のバランスのとれた創意ある教育を推進する。
- (4) 保護者や地域とつながり合い、安全で安心な学習環境づくりに努め、ともに子どもを育む学校づくりを目指す。

4 具体的な行動計画

- 自信を持って生き生きと活動できる自己肯定感の高い児童の育成を目指し、発表の場として「安東フェスティバル」の開催や児童会・委員会活動の活性化など、全教育活動（外国語活動を含む）を通して様々な機会を設定し、「コミュニケーション能力の育成」について研究を進める。
- 教師全員が年1回以上の授業公開や年2回以上の公開授業研究会を実施し、ICT 機器（タブレット端末）を効果的に活用した授業力の向上を目指す。
- 「米作り」等の勤労生産学習（田植え・稲刈り・もちつき等）に地域の方々に指導や協力をいただくなど、地域とのふれあいを大切にしたい体験活動を実施する。
- 児童や保護者へ学習や行事に対する学校満足度調査を実施したり、ホームページや学校・学年だより等を活用したりして積極的な情報発信を行うと共に学校運営協議会への理解を広める。
- 授業参観等による学校公開を実施し、開かれた学校づくりを推進する。
- 子どもの様子について日常的な情報交換や「生活を語る会」を実施して、児童の実態をその背景も含めて共有し、全校が一致した体制で学習指導及び生活指導にあたる。
- 北海道上富良野西小学校との姉妹校交流事業を継続する。（今年度は上富良野町への訪問交流）
- 行事の取組については、毎月の振り返りやアンケートを行うとともに、2学期末には保護者・児童・教職員にもアンケートをとり、学校評価を学校運営に生かす。（学校運営協議会での意見交換）
- 総勤務時間縮減の取組として、時間外労働時間月45時間（月1人当たりの平均時間外労働30時間以内）・年360時間以内、有給休暇年間3日増を目指す。また、定時退校日の月2回設定や定時に退校できる職員の割合70%、60分以内の会議の割合70%を目指す。